

内容 ~ 1. はじめに 2. 工事の進捗状況 3. 特殊な機械で締め固めています
4. 欠下城址遺跡の見学会を実施しました

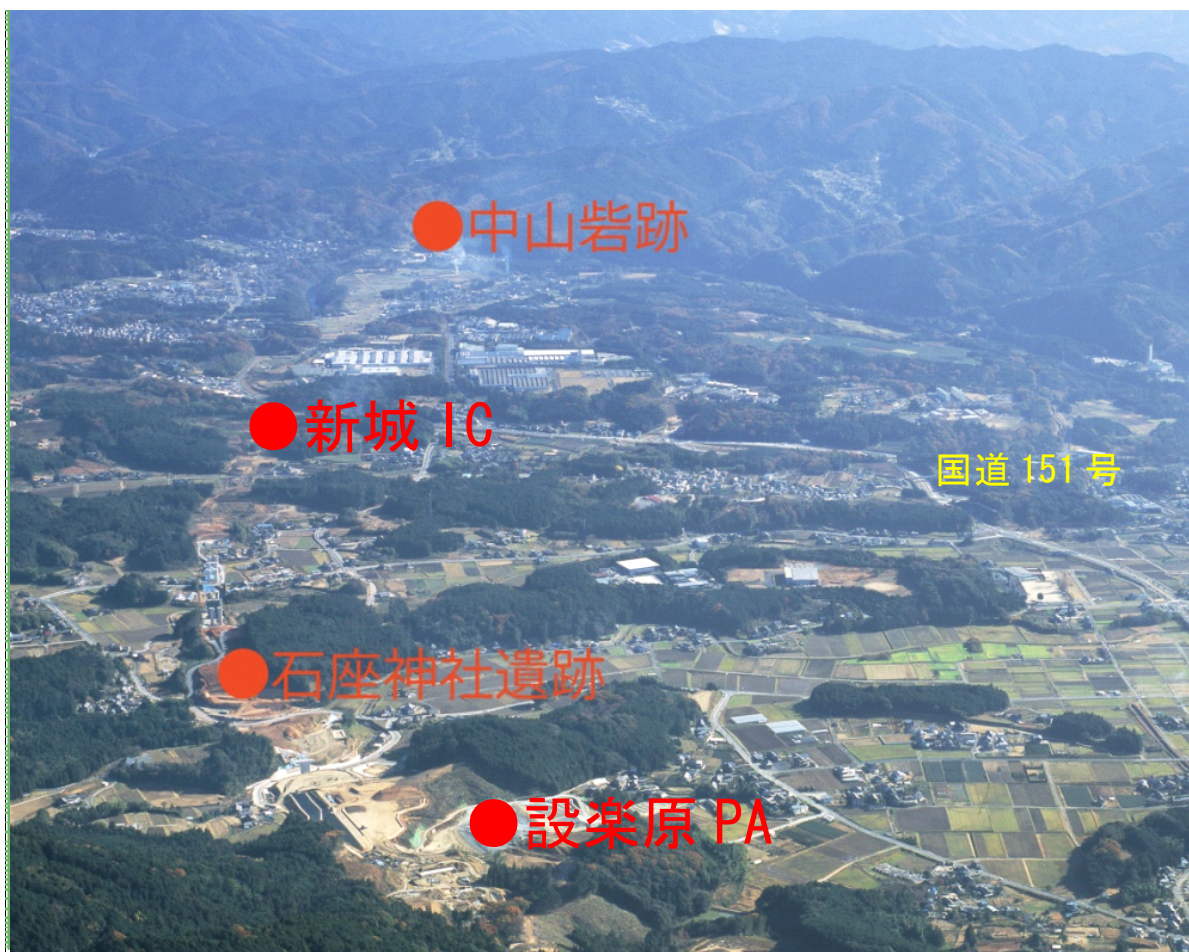


写真: 矢部地区から静岡方面を見た航空写真です。新東名の路線が大きく右にカーブを描いていることが判ります。新城インターの手前に名高田高架橋の橋脚が並んでいます。

1. はじめに

3月11日に東北関東大地震が発生しました。今回の地震はプレート型といわれプレート同士がずれることにより発生します。東海・東南海地震と同じ種類の地震です。対して阪神淡路や中越のような地震は直下型といわれ、地中の断層がずれることで発生する地震です。地震のエネルギー(マグニチュード)の大きさにもよりますが、直下型は震源が真下となりますので一般的に地震の強さは大きくなります。

高速道路の橋は、大きな直下型の地震でも落橋しない設計としております。盛土についても、排水対策や締め固めをしっかりとすれば、大きく壊れないことがわかっております。新東名は、大規模な地震に対しても壊れにくい最新の設計・施工をしています。ご安心ください。

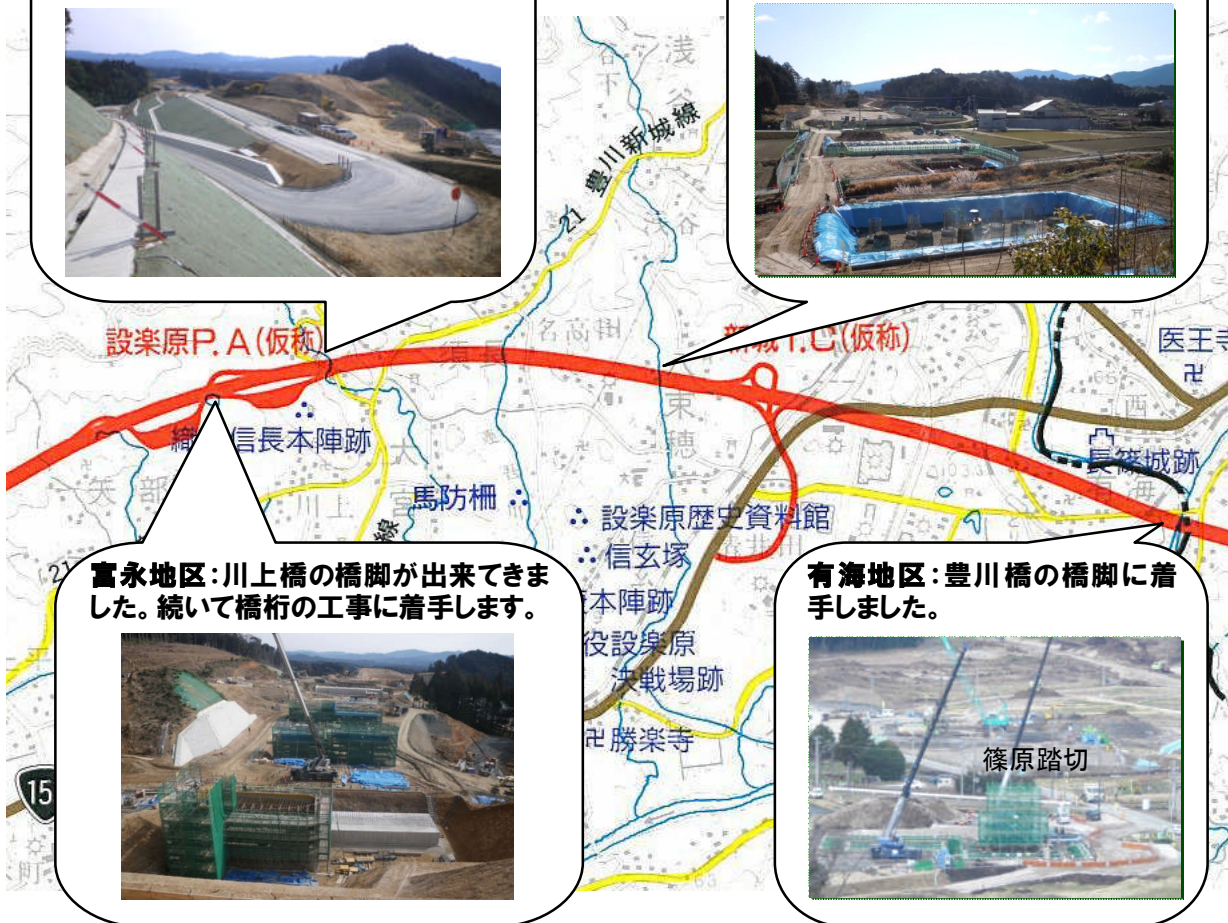
長文となりましたが、「新東名 新城東地区 NEWS」第12号をお届けいたします。

2. 工事の進捗状況

富永・牛倉地区：PA北側の斜面が出来てきました。



浅谷・八束穂地区：五反田川高架橋の工事に着手しました。



富永地区：川上橋の橋脚が出来てきました。続いて橋桁の工事に着手します。



有海地区：豊川橋の橋脚に着手しました。



3. 特殊な機械で締め固めています

鳳来地区の発生土は結晶片岩といわれる扁平な岩石で、通常の機械ではとても締め固めにくく強度低下を起こしやすい特徴があります。新城IC工事では、写真のように突起のついた機械を海外から取り寄せ、扁平な岩を突起物で細かくしながら締め固めています。この機械によりしっかり締め固めることができ地震にも強い盛土となります。

パーキングエリアでは、通常よりも大きな機械により同様の効果を発揮しています。



特殊な締め固め機械

4. 欠下城址遺跡の見学会を実施しました

2月19日に矢部地区の欠下城遺跡の見学会を実施いたしました。鎌倉時代の建物の跡や戦国時代の土鍋などが発掘されました。当日は地元の皆様や歴史愛好家など60名の方に参加いただきました。

設楽原の合戦場に近いことや、その時代の鍋も見つかったこともあり、合戦の時に使用されたかも？という歴史ロマンに触れることができました。



見学会の様子(円形の穴が柱の跡です)